

## 平成24年度 第2回木更津市史編集委員会 会議録

1. 会議名 平成24年度 第2回木更津市史編集委員会
2. 開催日時 平成24年9月3日(月) 午後1時30分～4時00分
3. 開催場所 木更津市民総合福祉会館 第1談話室(2階)
4. 出席者 市史編集委員会委員 出席8名  
金子 馨委員、橘田 昭雄委員、實形 裕介委員、藤平 量郎委員、野中 徹委員、  
三浦 茂一委員、須田 昭平委員、鹿間 和久委員  
教育委員会事務局 6名  
初谷教育長、石井教育部長、本多教育部次長、高橋文化課長、小高副主幹、時山主事
5. 議題及び公開又は非公開の別  
議題1 市史編集事業の進捗について  
議題2 「木更津のあゆみ」刊行日程について  
(非公開の理由)
6. 傍聴人 なし。

事務局(小高副主幹) ただ今より、平成24年度第2回木更津市史編集委員会会議を開会いたします。

本日の会議は、相山・高崎委員から都合により欠席のご連絡がありましたのでご報告します。会議につきましては、附属機関設置条例第6条第2項の規定により委員の半数以上の出席により成立しております。

また、本日の会議は公開で行い、会議録の作成のため、録音をさせていただきますので併せてご了解願います。

それでは、はじめに初谷教育長よりご挨拶を申し上げます。

初谷教育長 (初谷教育長挨拶)

事務局(小高副主幹) 続きまして、橘田委員長よりご挨拶をお願いいたします。

橘田委員長 (橘田委員長挨拶)

事務局(小高副主幹) ありがとうございます。

では、これから議事に入らせていただきます。議長は、委員長にお願いする規定となっておりますので、橘田委員長お願い致します。

橘田委員長 それでは、議長を務めさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

では、議事に入らせていただきます。本日は、『図説 木更津のあゆみ』の進捗状況についての報告ということでございますので、事務局より説明願います。

事務局（小高副主幹） （概況説明）

橘田委員長 事務局より、木更津のあゆみの進捗状況についての説明がございました。はじめに、質問等があればお願いいたします。藤平先生、お願いします。

藤平委員 8月の初めにハクセンシオマネキが盤洲干潟で発見され、新聞で発表されました。そのときは1匹しか見つからなかったようですが、最近田村さんが雄と雌1匹ずつ発見しました。雄雌1匹ずつとなりますと、盤洲干潟で繁殖している可能性がありますので、成田さんからこのことについて書いたらどうかという相談を受けました。取り上げるとすれば、30頁の「新たに進出した生物たち」の最後のところのウシガエルをカットして、ここに簡単な説明文と写真を入れたらどうかと思います。

橘田委員長 人が持ち込んだのですか。

藤平委員 いいえ。人が持ち込むことはありません。千葉県では初めてのことなので、私は取り上げたほうが良いと思います。

橘田委員長 事務局、いかがですか。

事務局（小高副主幹） 午前中に成田先生と、写真を小さくする等すれば、1、2行程なら入れられるという話をしました。ただ今、成田先生からメールが届いていると思いますので、会議後に確認し、調整したいと思います。

先ほど言い忘れてしまいましたが、表紙の題字につきましては、木更津市にお住まいの千代倉桜崖先生に依頼しております。現在は印刷の文字になっていますが、桜崖先生に依頼した字を入れる予定になっております。

橘田委員長 千代倉さんには、『図説 木更津のあゆみ』と書くようお願いしているのですか。

事務局（小高副主幹） はい、そうです。市制70周年については、明朝体のままほうが良いということでしたのでそのようをお願いしています。

- 橘田委員長                    わかりました。それでは、藤平先生の説明についてご理解いただけましたでしょうか。どこで取り上げるか考えてしまいますが、新発見ですからね。工夫して入れるようにしましょう。
- では、事務局の説明を聞いて質問や意見があればどうぞ。
- 三浦委員                        「人が持ち込んだ動物たち」の中にカニの話が含まれているように感じます。なので、「人が持ち込んだ動物たち」の小見出しの前に写真を入れると良いと思います。
- 橘田委員長                    ウシガエルの写真を取って、左に動かしてカニの写真を入れるということですね。
- 金子委員                        3段目の左のところに移して、右側に写真を入れると良いと思います。「温暖化に伴い出現した動物たち」のところですか。カニは温暖化に伴い出現したということなので。
- 事務局（小高副主幹）        レイアウトは調整できると思います。
- 橘田委員長                    はい。他に意見があればどうぞ。
- 須田委員                        市長の挨拶の中に「切られ与三郎」の話がありますが、正しくは「与話情浮名横櫛」です。通称にする場合は、「切られ与三」です。正式である「与話情浮名横櫛」としたほうが良いと思います。
- 事務局（小高副主幹）        わかりました。
- 橘田委員長                    はい、他にあればどうぞ。
- 鹿間委員                        校正の問題上確認させていただきたいのですが、民俗編の目次の最後に第5章、第1節とありますが、1ですよ。
- 事務局（小高副主幹）        はい、そうです。
- 鹿間委員                        また、目次では、原始・古代、第1章原始概説となっておりますが、本編33頁の右上のところでは、第1章概説となっております。原始・古代編なので、原始概説と古代概説と分けたのはわかりますが、本編でも原始概説と

古代概説としたほうが良いと思います。目次と本編どちらを直しますか。

初谷教育長

原始・古代と分けているので、目次に合わせたほうが良いと思います。  
近現代編は、近現代編全体の概説ですが、原始・古代の概説は原始の概説と古代の概説に分かれていますので。

金子委員

私も目次に合わせたほうが良いと思います。

橘田委員長

それでは、本編を原始概説、古代概説と直しましょう。他にありますか。

鹿間委員

凡例の3で「7編構成とした」とありますが、序章を含めると7つですが、編の数は6つですよね。表現の仕方はこれで良いのですか。

事務局（小高副主幹）

6編構成で6編構成としたとしたほうが良いですか。それとも7編構成を削りますか。

橘田委員長

7編を取って「第6編民俗とした。」として下さい。  
他に気がついたことがあればどうぞ。

三浦委員

凡例の1だけは過去形ではなく現在形のほうが良いと思います。「別巻として刊行したもの」ではなく、「別巻として刊行するもの」が良いですね。

また、凡例の7について、ボランティア等協力員の方々のことは書かれていませんがいかがでしょうか。

それから、凡例の8に「券末に木更津市の略年表を付した」とありますが、目次にある「木更津のあゆみ略年表」としたほうが良いと思います。

橘田委員長

その通りだと思います。協力員をどこかに入れませんか。

三浦委員

働いてくださったので入れないといけませんね。積極的に草を刈ったり、木を切ったりしてくださり協力してくれました。

橘田委員長

事務局、どういたしますか。

事務局（小高副主幹）

協力員の方は実際に活動なさっていたんですか。

橘田委員長

活動した人もいれば、しなかった人もいます。

三浦委員 170頁の5-5の図を見ると、木や草が生い茂っています。これはまだ良い状態です。良い写真が撮れるように協力員の方が刈ってくださいました。

橘田委員長 入れる場所がありませんね。

三浦委員 あとがきに入れたらどうでしょうか。

事務局（小高副主幹） 名前を掲載しなくてよければ、あとがきの最後のところに「ご協力いただきました方々へ」とありますので、この文章でよければ対応できます。

藤平委員 馬來田での調査のとき手伝ってくれた方がおりました。名前を載せると喜ぶと思います。

實形委員 スペースがなければ、ボランティアがいたことがわかる謝辞を述べると良いと思います。

鹿間委員 ボランティアの方はどれくらいいますか。

實形委員 各地区に数名いますので多かったはずです。

橘田委員長 それでは、検討するというところで、他にあればどうぞ。

須田委員 12頁の3段目に「サルやシカは戦後一時、狩猟を禁止した」とありますが、サルは禁止されていたのですか。サルやシカを狩猟の禁止の対象としたというのは間違っている気がします。

橘田委員長 確かなことはわかりませんね。

藤平委員 確認してみます。

橘田委員長 お願いします。  
目次の近世編第3章の1「日記にみる農民の生活」ですが、漢字の見るに直っていないですね。

實形委員 漢字の見るに直してしまうと、第2章の5の「裁許絵図にみる近世の村々」も漢字に直さなくてははいけません。大変なことになります。本文もひらがなで統一しているはずですが、9割ひらがなで表記しているので、直さないほう

が良いということになりました。

橘田委員長

わかりました。

13頁の太田山の植生図で力八神社となっておりますが、刀八神社の間違いです。

藤平委員

そうですね。隣の14頁に帰化植物でナガミノヒナゲシとありますが、ノはいらないです。ナガミヒナゲシです。

橘田委員長

わかりました。

8頁の地質図をご覧ください。来田駅となっております、馬が抜けています。

藤平委員

本当ですね。

金子委員

34頁のルビで「こんどうせいまびさしつきかぶと」とありますが、正しいですか。

事務局（小高副主幹）

名称として「こんどうせいまびさしつきかぶと」となっております。

橘田委員長

はい、他にあればどうぞ。

須田委員

10頁に「縄文の海—古小櫃湾の形成」とありますが、一般的に言われていますか。

藤平委員

一般的には言われてませんが、袖ヶ浦市史に書かれています。

須田委員

わかりました。

291頁に調査・研究・執筆員及び執筆分担がありますが、肩書きが県立中央博物館となっているのはいかがでしょうか。他の方は市職員ですとか教諭と表現されています。県立中央博物館職員としたほうが良いと思います。江戸東京博物館もそうですね。統一したほうが良いと思います。

三浦委員

そうですね。

ところで、編集委員の椋山先生は國學院大學教授ですか。

野中委員

今は名誉教授です。

三浦委員 間違っていますね。あと、私事ですが、千葉市史編集委員長です。編さん委員を削除して下さい。

橘田委員長 はい、いくつか訂正がございました。他にどうぞ。

實形委員 117頁は撰擇寺となっていますが、選擇寺ではありませんか。てへんのせんに訂正したのですか。

事務局（小高副主幹） お寺から頂いた封筒はてへんの撰だったかと思います。なので、撰擇寺としてますが、お寺の入口はしんによりの選擇寺となっています。

實形委員 お寺のホームページもしんによりの選です。名前の由来が法然上人選擇本願念仏集ですが、法然上人が直筆でしんによりで書いています。なので、全部しんによりの選に直さなければいけません。

事務局（小高副主幹） わかりました。

實形委員 124頁をご覧ください。4-12佐久間邸宅銅版画があります。三浦先生から年代がわからないということで明治期と入れたのが削られていますので、佐久間邸宅銅版画（明治期）として下さい。  
次に127頁の図の貢租の赤が強いです。10%ほど薄くして下さい。  
また、上段に「助郷役など夫役とよばれる」とありますが、「よばれる」は漢字にしますか。

事務局（小高副主幹） はい。漢字にします。

實形委員 それでは、機械的に直して下さい。

事務局（小高副主幹） はい、わかりました。

實形委員 139頁冒頭の盤洲干潟のルビですが、干潟のルビは削除したのですか。1頁では盤洲干潟の全部にルビがふられています。

事務局（小高副主幹） 1頁は干潟のルビが残ったままになっています。

實形委員 では、盤洲だけルビをふるということですね。

- 事務局（小高副主幹） はい。1頁の干瀉のルビを削除します。
- 實形委員 お願いします。あと、155頁の図で「林家系図」となっていますが、「林家略系図」ですね。  
また、90頁に「様子が窺える」とありますが、窺えるはひらがなに直して下さい。
- 事務局（小高副主幹） はい。様子もひらがなに直します。
- 金子委員 35頁上段に「最古の人類の生活痕跡」とありますが、痕跡にルビをふって下さい。常用漢字ではありませんので。  
また、65頁上段の国の造級のルビの位置がずれていますので、直して下さい。  
そして、64頁中段の杏葉ですが、読み方は「ぎょうよう」で正しいですか。
- 事務局（小高副主幹） はい。固有名詞ですので、正しいです。
- 金子委員 わかりました。以上です。
- 橘田委員長 はい、他にありますか。
- 三浦委員 175頁下段に重城巖の話で「東京の儒者島田重礼の下で学んだ。」とあります。重礼について、ちょうれいという読み方が正しいのか自信がありません。ですので、ルビの部分を取りたいと思っています。島田重礼は篁村という号です。島田篁村で引くと名前は重礼とわかりますが、ふりがながありません。
- 初谷教育長 島田篁村と表記して、楓江とそろえるのはいかがですか。
- 三浦委員 島田篁村としても良いと思いますが、島田重礼は東京帝国大学文科大学の教授になって漢文の教科書の編集を行っています。明治になると、大学の教授になるために号ではなく名前を使用しますので、重礼としています。
- 初谷教育長 島田重礼のままが良いかもしれませんね。
- 三浦委員 そうですね。読み方は、読者に任せます。



それから、186頁の下の図の「花となお」を「花と名を」、「きそうばかり」を「きそふばかり」に直して下さい。

232頁上段はスモッグでよろしいですか。スモックと使われているところもありますので、統一して下さい。

また、下の分布図「(小中学校所在分布図および罹患率)」は明朝体でしょうか。

事務局(小高副主幹) はい、そうです。直します。

三浦委員 251頁中段の小見出しの「市域の変様」ですが、変容に直して下さい。  
それから、277頁の年表、1868年に「官軍、真里谷城真如寺を焼く」とありますが、官軍は現在、新政府軍と言われています。同じように「林忠崇、仙台において官軍に降伏」とありますが、賊軍として降伏したことになります。現在では、そのような表現は避けたほうが良いと思います。

1873年に「各町村に小学校を設置、男女六才以上を就学させる」とありますが、現実ではありません。なので、「木更津県議事会の第一回会議が開かれる(3月)」の前に、「小学設立と就学を奨励する(一月)」と入れていただきたいと思います。

事務局(小高副主幹) わかりました。

三浦委員 同じく1873年に「重城保・佐久間帯刀が第一回県議事会の代議員となる」とありますが、代議員ではなく代議人です。

1877年「木更津村会初めて開かれる」に、「(9月)」を、「私立共成学舎(夜間中学校)開校」に「(5月)」を追加して下さい。そして、位置を逆にして下さい。

次に、「重城保が最初の公選県会議長となる」の文の上に1878年明治11年を移動させて下さい。

それから、1889年「木更津、吾妻、貝渕の三村を合併し木更津町となる」とありますが、町村制の施行が出てきていません。千葉県・全国のできごとのところに入れると良いと思います。

事務局(小高副主幹) 「市制・町村制公布」とは別でしょうか。

三浦委員 はい、違います。町村制公布は明治21年で施行は明治22年です。県全体で町村制という法律を施行したということです。

それから、あとがき後ろから2行目に「ご協力、ご支援いただけるよう、

心からお願いいたします。」とありますが、「いただけますよう」に直して下さい。

また、最後の行の「ご指導ご協力をいただきました方々へ忠心より御礼申しあげます」とありますが、忠心ではなく、衷心です。以上です。

初谷教育長 70頁の下にある写真に、写真の中に説明があります。明朝体で外に書いたほうが良いと思いますが、何か意味があるのですか。

事務局（小高副主幹） 筆者の希望でした。ただ、統一するという事で写真の外に説明を置くことはできます。

初谷教育長 69頁も写真の中に文字がありますね。ゴシック体でよろしいですか。

事務局（小高副主幹） 明朝体に統一するならば切り替えます。75頁の写真でも明朝体ですので、統一したほうが良いと思います。

初谷教育長 本文の見出し等がゴシック体なので、明朝体が良いと思います。

橘田委員長 そうですね。

事務局（小高副主幹） 69・70頁の図の脇にある文字は全て明朝体に統一します。

三浦委員 70頁の図の中にある文字も外に出したほうが良いと思います。

事務局（小高副主幹） はい、わかりました。  
すみません、余分でしたので、70頁の上の見出しの後ろ部分「一望陀郡と畔蒜郡の成立」を削除します。

橘田委員長 それでは、次に表紙についてですが、鎌足桜の写真があまり綺麗ではないですね。

事務局（小高副主幹） いくつか写真をいただきまして、印刷会社に選んでもらって載せています。一番良い写真ということで載せています。

橘田委員長 ぼやけていますね。

事務局（小高副主幹） 印刷の関係もありますが、多少ぼかしを入れていると思います。

- 藤平委員                      もっと良いものがあると思います。
- 金子委員                      中央は、木更津河岸ですかね。
- 實形委員                      中央の空き地になっているところが木更津河岸の場所ですが、見てもわからないですね。江戸橋の横にあるところが木更津の船着場ですね。江戸の風景になっていますがいかがでしょうか。鳥瞰図の港のほうが良いと思います。
- 事務局（小高副主幹）        259頁の図6-27を基に作成することになりますが、よろしいですか。
- 初谷教育長                      町のところを拡大すると良いと思います。
- 三浦委員                      一番目立つ背景が江戸の風景というのは良くないですね。
- 事務局（小高副主幹）        木更津河岸ということで後ろに説明を載せるか、木更津河岸という文字を入れるのはいかがでしょうか。
- 實形委員                      鳥瞰図が良いですね。写真の数を増やせないですか。
- 金子委員                      木更津のあゆみなので、自然等いろいろな写真が入っているのは良いと思います。背景が木更津ではないのは良くないと思います。
- 事務局（小高副主幹）        鳥瞰図に差し替えます。
- 三浦委員                      鎌足桜の写真はもっと大きいほうが良いと思います。
- 橘田委員長                      以前の表紙は取りやめたのですか。
- 事務局（小高副主幹）        市勢要覧とかぶってしまったため取りやめました。
- 石井教育部長                      11月3日の式典のときに一緒に何冊か配布します。市史はそのうちの1冊なので、表紙の区別をつけなければいけません。
- 橘田委員長                      鎌足桜の写真はどこからいただいたのですか。
- 事務局（小高副主幹）        鎌足桜のカレンダーの中の写真です。

石井教育部長 鎌足桜の写真はまだあると思います。

橘田委員長 写真の太刀は、復元された太刀ですか。全体がもう少し見えると良いですね。

事務局（小高副主幹） 拡大された写真なので、全体は入っていません。

橘田委員長 難しいですね。他にご意見ありますか。

金子委員 出版についてですが、地区の自治会等に市史が出ることを周知したほうが良いですね。多少多いのは良いですが、不足するのはいけないですね。どれほど用意しますか。

事務局（高橋課長） 3千部です。そのうち約2千部が関係者等に配布します。残りの約千部を一般の方に売ります。

藤平委員 書店には置かないのですか。

事務局（高橋課長） 特に考えておりません。

須田委員 定価はおいくらですか。

事務局（高橋課長） 2千円です。

須田委員 カラーで読みやすいので欲しい人はいると思います。各小中学校には図書として寄贈することも考えてみて下さい。

橘田委員長 木更津市の世帯数を教えてください。

事務局（小高副主幹） 約5万です。

橘田委員長 2千部の配布先に公民館や学校はありますか。

事務局（小高副主幹） はい、ございます。有償配布が千部です。

橘田委員長 町内会を通じて予約が取れるようにするのはいかかですか。

- 事務局（小高副主幹） 検討いたします。
- 橘田委員長 PRの仕方はいろいろあると思いますが、町内会を回ってみると良いですね。
- 藤平委員 町内会をいくつか選ぶと良いですね。全部回る必要はないと思います。
- 橘田委員長 多くの皆様に読んでいただきたいと思っています。公民館で、社会教育として使えるので、お手元に一冊置くようにと宣伝すれば売れると思います。
- 鹿間委員 博物館に置けば売れると思います。千部では足りないと思います。
- 須田委員 3千部ということで印刷業者と契約していますので、増刷するかどうかですね。
- 石井教育部長 増刷については、皆様の要望があれば考えていこうと思っています。
- 三浦委員 ボランティアの方々は無償で配布しますか。市史に興味があると思います。
- 本多教育部次長 検討していきたいと思っています。
- 橘田委員長 他にご意見ございませんか。  
事務局どうぞ。
- 事務局（小高副主幹） 議題2の今後の日程ですが、9月12日に校正したものを印刷会社に渡します。それまでに色校正を2回行い、10月1日に納品になります。  
校正についてですが、8月は校正委員の方にお集まりいただき、会議を何度か開催しました。今後は、校正委員の方に原稿をお渡しして、気になったところを指摘していただくことになるとは思います。よろしいでしょうか。ご検討ください。
- 三浦委員 あとがきや年表に手直しするところがたくさんありましたので、もう一度見せて下さい。
- 事務局（小高副主幹） 手直ししたものを見ていただくことになります。10日までに皆様から指摘をいただいて、手直しした原稿を12日に印刷会社へ持っていきます。そして、印刷会社でデータを修正することになります。

三浦委員 年表等の訂正が直ったかどうかの確認はどういたしますか。

事務局（小高副主幹） 事務局で確認いたします。ですので、10日までに訂正するところがあればお教えて下さい。

實形委員 わかりました。10日までにですね。

橘田委員長 もう一度集まって確認いたしますか。

三浦委員 私は、訂正した年表がきちんと直ったかを確認したいと思っています。

事務局（小高副主幹） 確認ですが、10日までに皆様から指摘されたところを記入した原稿を印刷会社に渡します。そして、印刷会社が原稿データを書き換え、プリントアウトになりますので、時間的に難しいです。

實形委員 訂正部分を記入している原稿を三浦先生は確認したいのですよね。

三浦委員 そうです。

事務局（小高副主幹） 手書きで記入している状態ですがよろしいですか。

三浦委員 はい、きちんと手書きで手直しされているのかを確認したいと思っています。

實形委員 10日に手書きで手直しされた原稿を確認して、これが確実に直るということで良いと思います。

橘田委員長 では、10日にもう一度集まりましょう。三浦先生、金子先生、藤平先生、實形先生の5人はお集まり下さい。

三浦委員 はい。先ほど言い忘れていました。奥付ですが、木更津市史編集委員会と木更津市教育委員会教育部文化課が並んで書かれています。共同して編集したように見られます。ですので、編集は市史編集委員会で、事務局が文化課であることをわかるようにしなくてはなりません。

事務局（小高副主幹） では、木更津市史編集委員会の後に住所がきて、木更津市教育委員会文化課内とするのはいかがですか。

三浦委員 良いと思います。事務局が文化課であることもわかりますね。

橘田委員長 他にございますか。

各委員さんの意見も本日のところは出尽くした感がございますので、本日の協議はこのあたりで終了したいと思います。進行を事務局にお返しします。

事務局（小高副主幹） 以上で平成24年度第2回市史編集委員会を終了いたします。  
お疲れさまでございました。

平成24年9月3日

議事録署名人 木更津市史編集委員会

委員長 橘田 昭雄